

## Press Release

日本イーライリリー株式会社  
持田製薬株式会社

2026年4月16日

**ヒト化抗ヒト IL-23p19 モノクローナル抗体製剤  
「オンボア®皮下注 200mg オートインジェクター」および  
「オンボア®皮下注 200mg シリンジ」の  
既存治療で効果不十分な中等症から重症の潰瘍性大腸炎の維持療法に対する  
適応追加承認を取得**

日本イーライリリー株式会社(本社:兵庫県神戸市、代表取締役社長:シモーネ・トムセン、以下「日本イーライリリー」と持田製薬株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:持田 直幸、以下「持田製薬」)は、「オンボア®皮下注200mg オートインジェクター」および「オンボア®皮下注200mg シリンジ」(一般名:ミリキズマブ(遺伝子組換え)、以下「本剤」)について、2026年4月15日付で、既存治療で効果不十分な中等症から重症の潰瘍性大腸炎の維持療法に対して、日本イーライリリーが適応追加承認を取得しましたのでお知らせいたします。

オンボアは、大腸粘膜の炎症に関与するサイトカインであるIL-23のp19サブユニットを標的としたヒト化IgG4モノクローナル抗体で、潰瘍性大腸炎の治療薬として世界で初めての抗IL-23p19モノクローナル抗体製剤です。IL-23とIL-12の共通のサブユニットであるp40には結合しないため、IL-23とIL-23受容体との相互作用のみを阻害して炎症性サイトカインの産生を抑えます。

日本イーライリリーの自己免疫事業本部長 ロータス・モールブリスは、次のように述べています。「この度、オンボア200mg皮下注製剤の潰瘍性大腸炎に対する適応追加が承認されたことを、大変嬉しく思います。今回の200mg製剤の追加により、患者さん一人ひとりの生活に寄り添った、よりシンプルで継続しやすい治療選択が可能になることで、治療体験のさらなる向上が期待されます。引き続き、科学に思いやりを込めて、潰瘍性大腸炎とともに生きる人々がより健やかな未来に向かって進めるよう、真に求められるソリューションを提供し続けます。」

持田製薬の執行役員医薬営業本部長 二宮 眞治は、次のように述べています。「オンボア皮下注200mg オートインジェクターおよびオンボア皮下注200mg シリンジについて、潰瘍性大腸炎に対する適応追加が承認され、患者さんの治療選択肢を拡げることができたことを大変嬉しく思います。本承認により、より多様な治療ニーズに応えることが可能になるものと考えております。今後も医療関係者の皆様への適切な情報提供に努め、患者さんのQOL向上に貢献してまいります。」

オンボアは国内において、日本イーライリリーが製品供給を担当し、持田製薬が流通・販売、および情報提供活動を行っています。なお、潰瘍性大腸炎治療に使用いただける本剤の流通の準備が整い次第、別途ご案内いたします。

以上

## 製品概要(オートインジェクターとシリンジの潰瘍性大腸炎に対する治療に関連する事項のみ記載)

販売名	オンボ®皮下注100mg オートインジェクター オンボ®皮下注100mg シリンジ オンボ®皮下注200mg オートインジェクター オンボ®皮下注200mg シリンジ
一般名	ミリキズマブ(遺伝子組換え)
効能又は効果	中等症から重症の潰瘍性大腸炎の維持療法(既存治療で効果不十分な場合に限る)
用法及び用量	ミリキズマブ(遺伝子組換え)点滴静注製剤による導入療法終了4 週間後から、通常、成人にはミリキズマブ(遺伝子組換え)として1 回200mg を4 週間隔で皮下投与する。
承認取得日	2026年4月15日
製造販売元	日本イーライリリー株式会社
販売	持田製薬株式会社

## 製品画像



オンボ®皮下注 200mg オートインジェクター



オンボ®皮下注 200mg シリンジ

## 日本イーライリリーについて

日本イーライリリー株式会社は、米国に本社をおくグローバル製薬企業イーライリリー・アンド・カンパニーの日本法人として、最先端の科学技術を基盤とした革新的医薬品の研究開発および供給に、50年以上にわたり継続的に取り組んでいます。糖尿病(糖尿病)、肥満症、がん、アルツハイマー病を含む中枢神経系疾患、自己免疫疾患など幅広い領域において医療の可能性を切り拓き、誰もが必要な医療を安心して受けられる社会づくりや、人々の健康で豊かな人生の実現に貢献してまいります。

詳細は当社ウェブサイトをご覧ください。<https://www.lilly.com/jp>

## 持田製薬について

持田製薬株式会社は、1913年の創業以来、独創的な医薬品の研究開発により、特色ある医薬品を医療の場に提供してまいりました。現在は、循環器、消化器、産婦人科、精神科の重点4領域をはじめ、難治性疾患の治療剤、バイオシミュラーを含む後発医薬品など、医療ニーズに応えた取り組みを行っています。消化器領域のうち、特に潰瘍性大腸炎・クローン病の治療においては、複数の治療剤や体外診断用医薬品を提供しております。詳細はウェブサイトをご覧ください。<https://www.mochida.co.jp>